

平成29年度 一般会計予算 88億6000万円 前年度比 1億9500万円減

今後、新たな可燃ごみ処理施設の建設や東松山斎場の改修等に係る負担金で、多額の支出が見込まれる中、将来を見据え、昨年度以上の「選択と集中」によって、編成された今予算。

そんな中にあっても、国が後押しする「地方創生」の名のもと、「地域の資源を活かした」「安全で住みよいまちづくり」につながる各種事業が展開されます。ここでは、各常任委員会の立場で注目・期待する取り組みをご紹介します。

将来につなげる 守りの予算を可決

総務常任委員会はここに期待！

自治

新課・防災地域支援課が始動

庁舎1階に相談・自治振興、2階で防災・消防・防犯など住民の安全・安心対策に取り組む。

議会 安全・安心対策はもちろん、自治振興にも注力を。



防災

災害用資機材の購入

衛生用品・炊出し器具・可搬発電機等

自主防災組織(行政区)の資機材購入費に補助※補助率2分の1 上限20万円

簡易トイレ・発電機・テント等

議会 さらなる自主防災組織の活動の充実を。



農業

町内産野菜のプロモーション

商標登録によるブランド化を目指す。ポスターやチラシによるPR活動。

元気な農業応援総合補助金

研修生の受け入れ農家・生ごみ資源化施設を利用した実証プラント等に対する補助。

議会 町内外消費拡大と認知度の向上、農業に魅力と付加価値を。



和紙

ユネスコ和紙ブランド推進連携事業

新たな商品開発等。和紙サミットの開催。

小川和紙生業支援の推進

生産力向上のための器具開発。研修奨励補助金等。

議会 ブランド化に向けた取り組みと生業となる手立てを。



経済建設常任委員会はここに期待！

Heisei 29th Initial budget

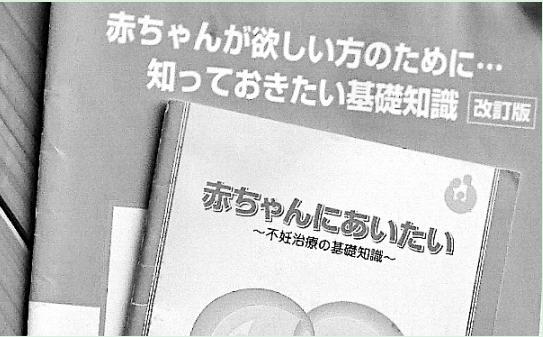
厚生文教常任委員会はここに期待！

保健

早期不妊検査・治療費の助成

検査…妻が43歳まで、15人を対象。
治療…妻が35歳未満で治療を開始した3人を対象。

議会 対象人数と助成費の拡大、相談体制の充実を。



学校

小・中学校トイレ洋式化

西中を除く全ての小・中学校の各階、職員用に男女1基ずつを設置。
長期休業中に工事予定。

議会 工事中の児童生徒の安全確保と老朽化した教育施設の改修整備を。



評価

入町税の増収

平成28年度収入見込みから、3272万円の増を見込む。税務課納税グループの活躍に期待。

入財政調整基金(預金)の取り崩しを抑制

当初予算では、5億7000万円のうち、3億2000万円を充当。近年では、おおむね6億円の預金をほぼ全額取り崩していた。

出次世代につながる子供子育て分野に予算を集中

早期不妊検査・治療費の助成、小学校就学支援助成金、第3子以降の小中学生給食費と保育料の無償化、子育て支援アプリの充実、奨学金制度の充実、等

出国や県の補助金等を活用

増減はあるものの、地方創生関連事業分を主に、選択と集中による各種事業に伴った補助金の獲得と活用。

課題

入補助金に依存する事業展開

町単独予算での独自・新規事業はごくわずか。地方創生関連の交付金も残り3年。その後の事業の継続・展開が心配。

出財政の硬直化と社会保障関連経費の増大

財政の弾力性を示す経常収支比率は、90.9%。人口減少と高齢化※の進行が影響。

※人口減少…ピーク時の平成8年1月末=3万8570人から

平成29年3月末=3万982人に減少

高齢化率…平成29年3月末=33.8%

議会はここに注目！